

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成29年7月】

■調査概要（データ対象期間：平成29年7月1日～7月31日）

- 調査期間：平成29年8月3日～8月21日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査
- 回収状況：建設業21企業、製造業22企業、卸売業15企業、小売業34企業
飲食業18企業、サービス41企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計151企業>
- 調査項目：7月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヶ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI・水準DIともにマイナス幅が縮小

1. 業況判断

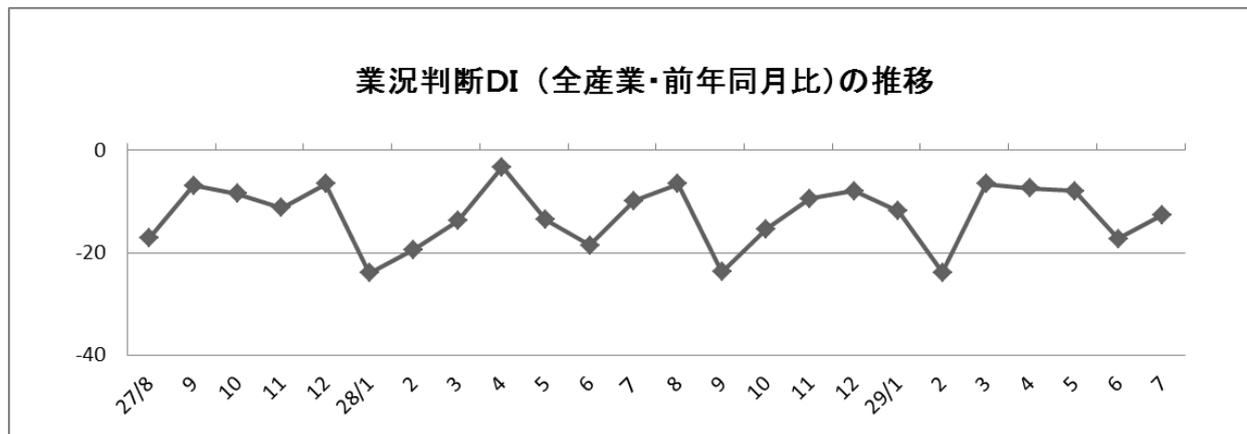
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲17.3）よりマイナス幅が4.7ポイント縮小し、▲12.6となった。業種別では、卸売業はマイナスからプラスに転じた。建設業はマイナス幅が縮小し0となった。サービス業、小売業はマイナス幅が縮小した。飲食業、製造業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲23.3）よりマイナス幅が6.1ポイント縮小し、▲17.2となった。業種別では、小売業、建設業、卸売業、サービス業はマイナス幅が縮小した。飲食業は変わらず、製造業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	13.2 (10.7)	61.0 (61.3)	25.8 (28.0)	▲12.6 ↗ (▲17.3)	10.6 (10.0)	61.6 (56.7)	27.8 (33.3)	▲17.2 ↗ (▲23.3)
建設業	14.3 (4.8)	71.4 (71.4)	14.3 (23.8)	0.0 ↗ (▲19.0)	14.3 (4.8)	61.9 (66.6)	23.8 (28.6)	▲9.5 ↗ (▲23.8)
製造業	18.2 (19.0)	36.3 (47.7)	45.5 (33.3)	▲27.3 ↘ (▲14.3)	13.6 (19.0)	50.0 (52.4)	36.4 (28.6)	▲22.8 ↘ (▲9.6)
卸売業	26.7 (13.3)	53.3 (60.0)	20.0 (26.7)	6.7 ↗ (▲13.4)	13.3 (0.0)	60.0 (73.3)	26.7 (26.7)	▲13.4 ↗ (▲26.7)
小売業	5.9 (5.9)	67.6 (61.7)	26.5 (32.4)	▲20.6 ↗ (▲26.5)	5.9 (5.9)	64.7 (50.0)	29.4 (44.1)	▲23.5 ↗ (▲38.2)
飲食業	0.0 (6.7)	66.7 (60.0)	33.3 (33.3)	▲33.3 ↘ (▲26.6)	5.6 (6.7)	55.5 (53.3)	38.9 (40.0)	▲33.3 → (▲33.3)
サービス業	17.1 (13.6)	63.4 (63.7)	19.5 (22.7)	▲2.4 ↗ (▲9.1)	12.2 (15.9)	68.3 (54.6)	19.5 (29.5)	▲7.3 ↗ (▲13.6)

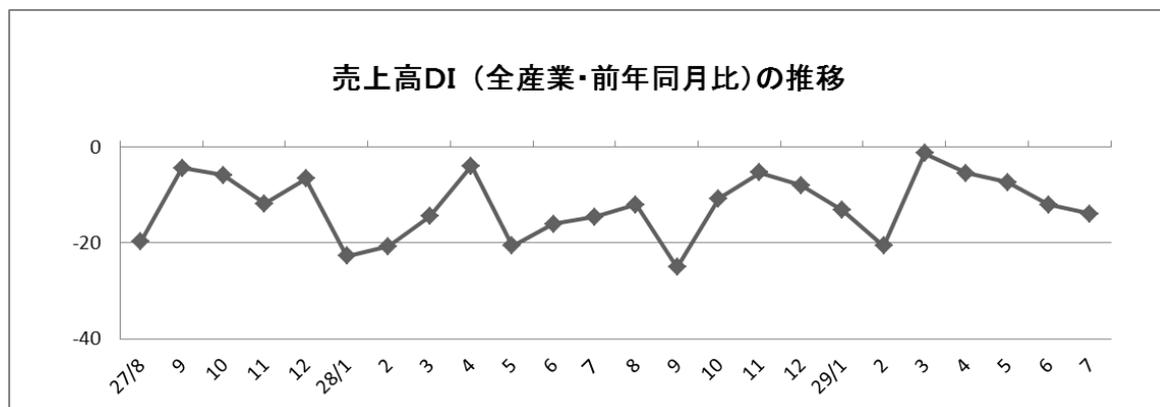
()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計



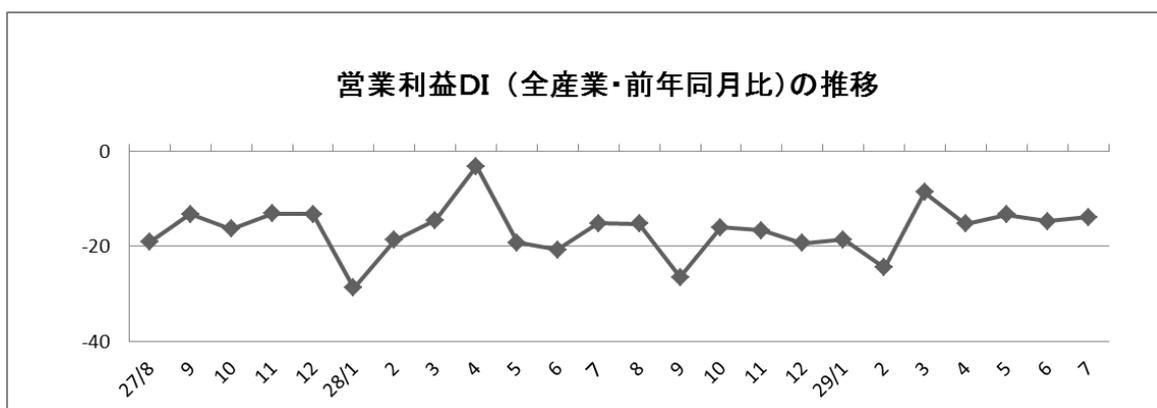
2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲12.0）よりマイナス幅が1.9ポイント拡大し、▲13.9となった。業種別に見ると、サービス業は0からプラスになった。卸売業、建設業はマイナス幅が縮小し0となった。製造業は0からマイナスになった。小売業、飲食業はマイナス幅が拡大した。



3. 営業利益DI（前年同月比）

○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲14.7）よりマイナス幅が0.8ポイント縮小し、▲13.9となった。業種別に見ると、サービス業はマイナスからプラスに転じた。建設業、卸売業、小売業はマイナス幅が縮小した。飲食業、製造業はマイナス幅が拡大した。



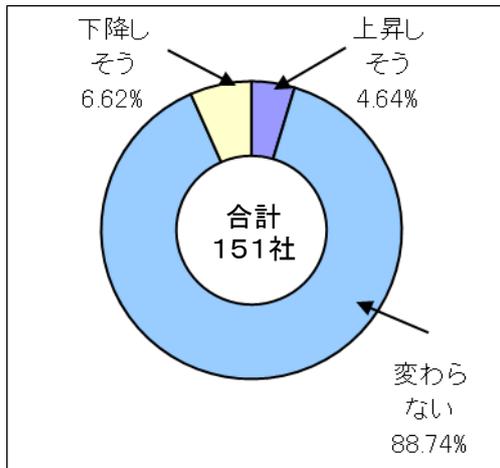
【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	28/7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全 体	▲14.6	▲12.0	▲25.1	▲10.7	▲5.3	▲8.0	▲13.2	▲20.6	▲1.3	▲5.4	▲7.3	▲12.0	▲13.9
建 設 業	0.0	▲9.5	▲9.6	▲21.7	▲12.5	▲39.2	▲25.0	▲22.7	▲5.2	▲19.1	▲28.0	▲14.3	0.0
製 造 業	▲10.0	▲5.0	▲26.1	▲17.4	▲4.5	0.0	0.0	4.5	5.0	16.7	▲9.1	0.0	▲31.8
卸 売 業	▲30.8	▲28.6	▲15.4	▲23.1	6.2	▲18.8	▲43.7	▲15.4	▲16.6	▲28.6	16.6	▲33.4	0.0
小 売 業	▲17.7	▲18.2	▲29.4	▲8.6	▲13.4	16.1	9.0	▲41.2	▲2.8	0.0	0.0	▲17.6	▲20.6
飲 食 業	▲33.4	▲5.5	▲43.7	▲18.8	▲28.6	▲13.3	▲33.4	▲35.3	▲16.7	▲14.3	▲11.8	▲26.6	▲44.4
サービス業	▲10.9	▲9.1	▲25.0	5.0	6.8	▲6.7	▲13.3	▲11.6	8.9	▲4.6	▲5.0	0.0	2.4

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

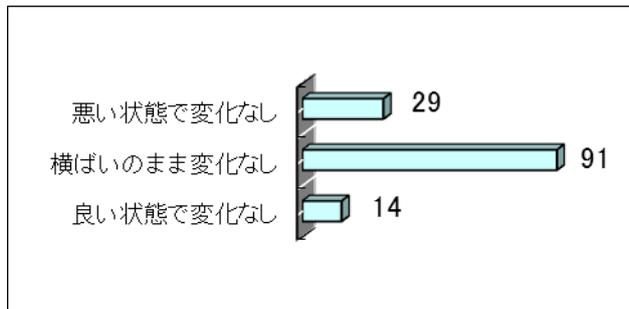
	28/7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全 体	▲15.2	▲15.3	▲26.5	▲16.0	▲16.7	▲19.3	▲18.6	▲24.5	▲8.6	▲15.3	▲13.3	▲14.7	▲13.9
建 設 業	▲8.7	▲19.0	▲23.8	▲21.7	▲29.2	▲43.5	▲20.0	▲27.3	▲21.0	▲33.3	▲32.0	▲28.6	▲4.7
製 造 業	▲20.0	▲5.0	▲30.5	▲30.5	▲22.7	▲10.0	0.0	▲9.1	▲10.0	▲4.1	▲9.1	▲4.7	▲36.4
卸 売 業	▲7.7	▲21.4	▲23.1	▲7.7	▲6.2	▲25.0	▲37.5	▲30.8	▲8.3	▲14.3	8.3	▲20.0	▲6.6
小 売 業	▲8.9	▲15.1	▲29.4	▲14.3	▲23.3	0.0	▲9.1	▲35.3	▲2.8	▲11.7	▲17.6	▲20.6	▲17.6
飲 食 業	▲46.6	▲16.7	▲50.0	▲37.5	▲42.9	▲33.4	▲46.6	▲41.2	▲22.2	▲21.4	▲11.8	▲26.6	▲38.9
サービス業	▲13.0	▲15.9	▲15.9	0.0	2.3	▲17.8	▲17.8	▲14.0	▲2.2	▲14.0	▲7.5	▲2.3	4.9

◇ 向こう3ヶ月の見通し ◇



○平成29年8月～平成29年10月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ3.36ポイント減少し4.64%、「下降しそう」が1.38ポイント増加し6.62%となった。業種別の見通しDIは建設業(14.2)、製造業(▲4.5)、卸売業(▲13.3)、小売業(▲5.9)、飲食業(▲5.6)、サービス業(0.0)であった。

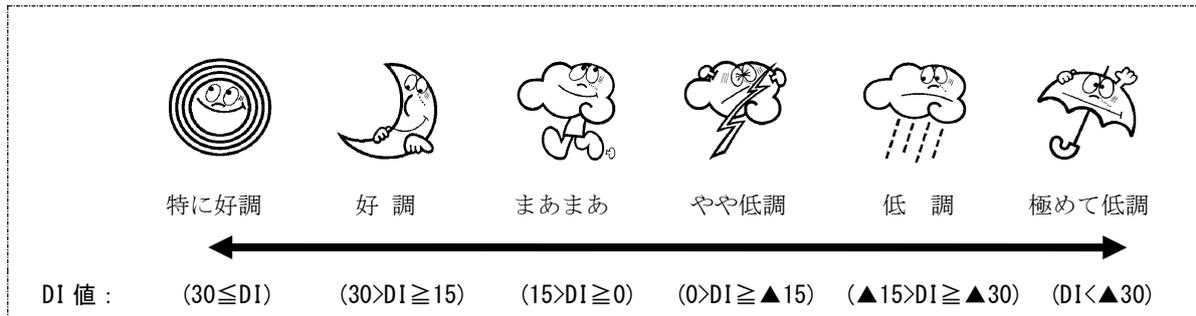
➡「上昇しそう」では、「公共の入札が多く出てきており、元請、下請及び一般受注も上昇傾向」「東京物件の注文が入ったため」(建設業)、「来月の受注増が見込めるため」(製造業)、「職業訓練受講者募集に底打ち感があり、最悪期に比べ若干増加傾向なため」(サービス業)といった声が寄せられた。



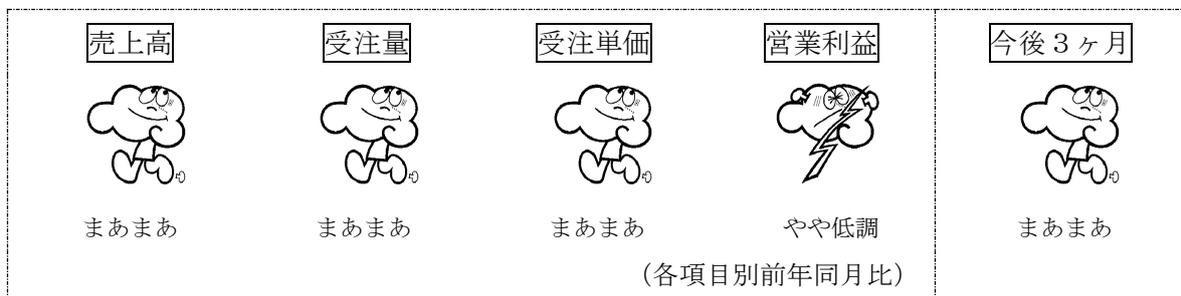
➡「下降しそう」では、「大型新店開設の影響が出てくるため」(製造業)、「一部の業界が良く、毎月売り上げが変動するため」(卸売業)、「暑さの厳しい予報が出ており、人出が心配なため」(小売業)、「再来月からは地元の祭りの準備や稲刈り等でお客様が少なくなるため」(飲食業)、「天候が不安定なため」(サービス業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



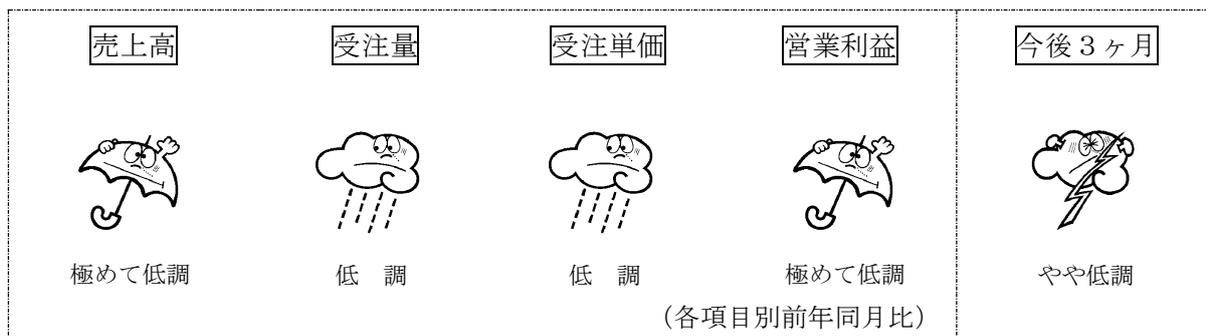
【項目別DIの推移】

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	0.0	▲ 9.5	▲ 9.6	▲ 21.7	▲ 12.5	▲ 39.2	▲ 25.0	▲ 22.7	▲ 5.2	▲ 19.1	▲ 28.0	▲ 14.3	0.0
受注量	▲ 8.7	▲ 38.1	▲ 4.7	▲ 13.1	▲ 20.8	▲ 39.1	▲ 30.0	▲ 18.2	▲ 5.2	▲ 38.1	▲ 40.0	▲ 33.4	0.0
受注単価	4.4	▲ 19.0	▲ 23.8	▲ 26.1	▲ 16.6	▲ 21.8	▲ 25.0	▲ 9.1	▲ 5.3	▲ 4.8	▲ 12.0	▲ 4.8	4.8
営業利益	▲ 8.7	▲ 19.0	▲ 23.8	▲ 21.7	▲ 29.2	▲ 43.5	▲ 20.0	▲ 27.3	▲ 21.0	▲ 33.3	▲ 32.0	▲ 28.6	▲ 4.7
見通し	4.3	▲ 4.8	9.5	▲ 8.7	▲ 4.1	▲ 4.4	0.0	4.6	10.5	0.0	16.0	9.5	14.2

<経営者の目・見方・e t c>

- 建築工事**
 - ・過去にないほど公共入札案件が多く、それに伴う資格者が足りないため応札が出来ない。現在集中して受注している今後の工事の調整が非常に難しい。
 - ・イオンモール松本オープンによる好景気が一時的にある。
- 鉄工**
 - ・地元物件が少ないと感じる。ここにきて動きが悪いと感じる。
 - ・当面首都圏の需要に限っては大幅な落ち込みはない。東京五輪開幕を照準に数多くの物件が一斉に今夏から動き始めている。五輪以降の不透明感から、リーマンショックの二の舞を想定して極めて慎重になっている。
- 鉄骨工事**
 - ・県内の仕事は減少し、関東の仕事は増加している。
- 土木工事**
 - ・現状のままでは今年度の業績は近年最悪となる。建設部門の発注物件は比較的良いので建築業者は多忙のようだ。
 - ・例年になく工事量が少ない。
- 電気工事**
 - ・大型物件が全くないので受注競争もない静かな状態が続いている。新年度公共工事の早期受注に期待する。
- 管工事**
 - ・あまり良くないが昨年の平均位は行くと思う。建設業も仕事が偏ってきている。

2. 製造業



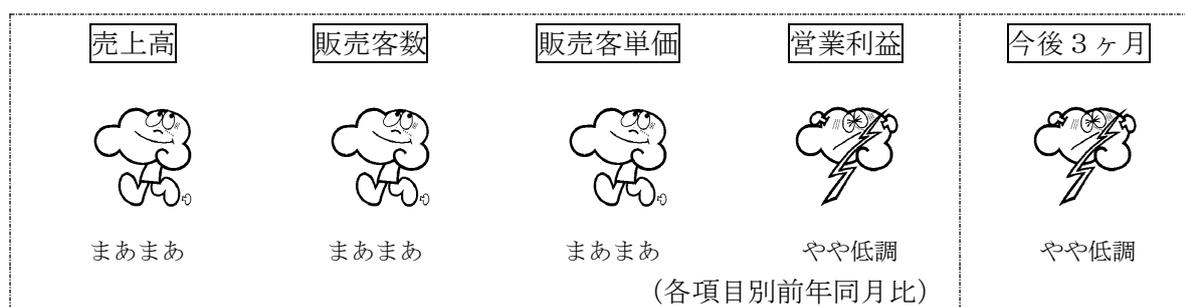
【項目別DIの推移】

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	▲10.0	▲5.0	▲26.1	▲17.4	▲4.5	0.0	0.0	4.5	5.0	16.7	▲9.1	0.0	▲31.8
受注量	▲25.0	▲15.0	▲39.1	▲26.1	▲13.7	▲10.0	▲9.1	▲4.5	▲15.0	4.2	▲18.2	0.0	▲27.3
受注単価	▲20.0	▲10.0	▲26.1	▲17.4	▲27.3	▲10.0	▲18.2	0.0	▲5.0	▲16.6	▲9.1	▲33.3	▲27.3
営業利益	▲20.0	▲5.0	▲30.5	▲30.5	▲22.7	▲10.0	0.0	▲9.1	▲10.0	▲4.1	▲9.1	▲4.7	▲36.4
見通し	10.0	▲10.0	▲8.7	4.4	0.0	▲5.0	0.0	9.1	▲20.0	▲4.2	▲4.5	▲4.7	▲4.5

<経営者の目・見方・e t c >

印刷	・書籍業界は7月から10月頃までは例年あまり変化がないため、印刷業界もあまり良い状況ではない見込み。現時点においては受注量がやや減少している。
菓子	・スーパーでの商品の動きが悪いのが続いている。
金属塗装	・新聞等では景気は上向きで良いという記事が出ているが、当社に関しては低下している。
合成樹脂加工	・半導体が牽引する形で設備、機械関係も動くと思われ、しばらくは悪化することはないと思われる。人材確保が最大のネックで、効果的な打ち手を見いだせない状況。
紙器	・受注量も少しずつ増え、仕事も忙しくなっている。
酒類	・東京はオリンピック景気で地価が上昇しているというが、地方都市にはあまり関係のない印象。あいかわらず外国人のインバウンドは盛んで、多くの外国人が来ていることが明るい要素だと思う。ただし、日本人の個人消費は決して伸びてはいない。大きく下降はしていないが、横ばい状況か。異常気象や、テロ事件など不安要素があり、堅実に足元は固まってきているようだが、安心はできない状況。
小型情報機器組立	・一服感があるのではないか。

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 15.4	▲ 23.1	6.2	▲ 18.8	▲ 43.7	▲ 15.4	▲ 16.6	▲ 28.6	16.6	▲ 33.4	0.0
販売客数	▲ 30.8	▲ 14.3	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 6.2	▲ 25.0	▲ 6.2	▲ 7.7	▲ 16.7	▲ 7.2	0.0	▲ 20.0	6.6
販売客単価	▲ 7.7	▲ 21.4	▲ 7.7	0.0	6.3	▲ 18.8	▲ 18.7	▲ 15.4	▲ 8.3	▲ 14.3	0.0	▲ 26.6	0.0
営業利益	▲ 7.7	▲ 21.4	▲ 23.1	▲ 7.7	▲ 6.2	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 30.8	▲ 8.3	▲ 14.3	8.3	▲ 20.0	▲ 6.6
見通し	0.0	7.1	▲ 7.7	0.0	0.0	▲ 6.3	0.0	0.0	8.3	7.1	8.3	▲ 6.7	▲ 13.3

<経営者の目・見方・e t c >

機械工具

- ・仕入れ商品の納期が年内間に合わないものが出てきた。
- ・各社決算により、人事異動、組織変え等があり、先行きの方針等は変わらないと思うが不透明である。

金属製品

- ・ここ数ヶ月際立った変化はない。オリンピック関連等の大型物件はないものの、地元加工業者の稼働状況は安定した状況が続いている。

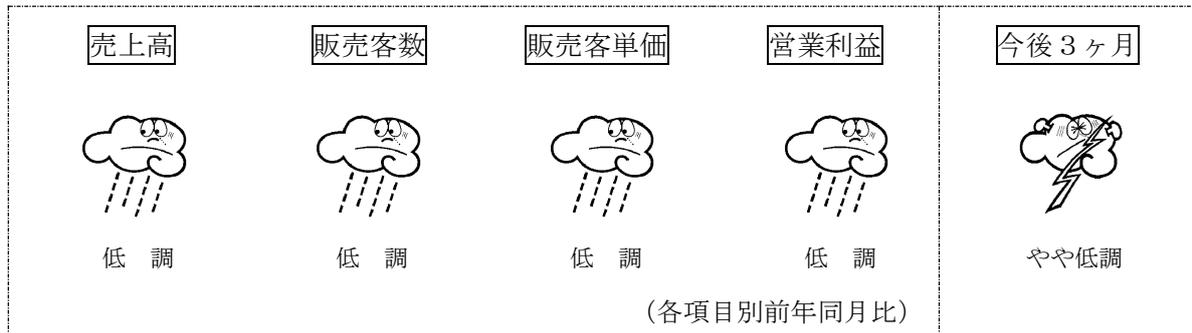
青果

- ・高温干ばつにより家庭菜園等が果菜類中心に豊作のため、消費低迷月だった。しばらくこのような状況かと思われる。

土産品

- ・夏休みがスタートするという気分的な事もあるようだが、非常に好調な月だった。松本地区、長野県内は大きな伸びはなかったが、全体的に土産品需要が好調になりつつある。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	▲ 17.7	▲ 18.2	▲ 29.4	▲ 8.6	▲ 13.4	16.1	9.0	▲ 41.2	▲ 2.8	0.0	0.0	▲ 17.6	▲ 20.6
販売客数	▲ 11.8	▲ 6.1	▲ 29.4	▲ 5.7	▲ 23.3	0.0	3.1	▲ 41.2	▲ 8.3	▲ 3.0	▲ 8.8	▲ 14.7	▲ 17.6
販売客単価	▲ 17.7	▲ 12.1	▲ 23.6	▲ 22.9	▲ 20.0	6.4	▲ 12.1	▲ 32.3	0.0	▲ 11.7	▲ 5.9	▲ 20.6	▲ 23.5
営業利益	▲ 8.9	▲ 15.1	▲ 29.4	▲ 14.3	▲ 23.3	0.0	▲ 9.1	▲ 35.3	▲ 2.8	▲ 11.7	▲ 17.6	▲ 20.6	▲ 17.6
見通し	▲ 2.9	▲ 6.1	▲ 5.9	0.0	0.0	0.0	▲ 3.0	2.9	▲ 8.3	2.9	0.0	▲ 8.8	▲ 5.9

<経営者の目・見方・e t c >

印章

- ・松本城公園の使用規定について話し合いをしてほしい。
- ・夕立が少なく、天候に恵まれていたが、客足は鈍目。目立つのは外国人観光客。
- ・御嶽海、松商学園の甲子園出場で商店街も活力が沸くことを望む。

薬局

- ・客数も少なく単価も低かった。昨年に比べて非常に悪い。

パン

- ・比較的涼しい日が続き、安定した経営ができた。

パン・菓子

- ・新規に大口顧客が出来たため売り上げ増加。その他は横ばい。

おやき	・他県からのお客さんが例年に比べて少なく、客単価が下がっている。儉約志向が一層強くなったと感じられる。全般的に再点検して売上と利益の拡大に向けて工夫していきたい。
生鮮食品	・今月は雨が少なく毎日高温が続き売り上げにも反映した。仕入れ、売上共に前年を上回り、皆でよく働いた。人材が欲しいがなかなか決められない。
観光物産	・外国人の来店数が減少した。山の日からお盆にかけての期間に期待している。
化粧品	・開店日が決まったイオンモール松本。自店としての客の囲い込みの検討が必要。
住宅機器	・忙しくなったと思ったら落ち着いてしまったりと夏らしくない。
書籍・木のおもちゃ	・個人消費が伸びず売り上げの低迷が続く。対策を考えて乗り切るしかない。
陶磁器	・購入金額の多少にかかわらず、クレジットカードや電子マネーでの決済が増加している。現金化のタイミングは遅れるものの、釣銭管理の負担が多少は楽になる。買い物のキャッシュレス化は加速するが、個人的には使い分けている電子マネー5枚の規格統合が待たれる。イオンモール松本の開店が近づき、既存店舗の撤退や移転の動きが活発化した。
薬局	・暑さで人の出も良くない。伊勢町の日影対策を考えたい。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

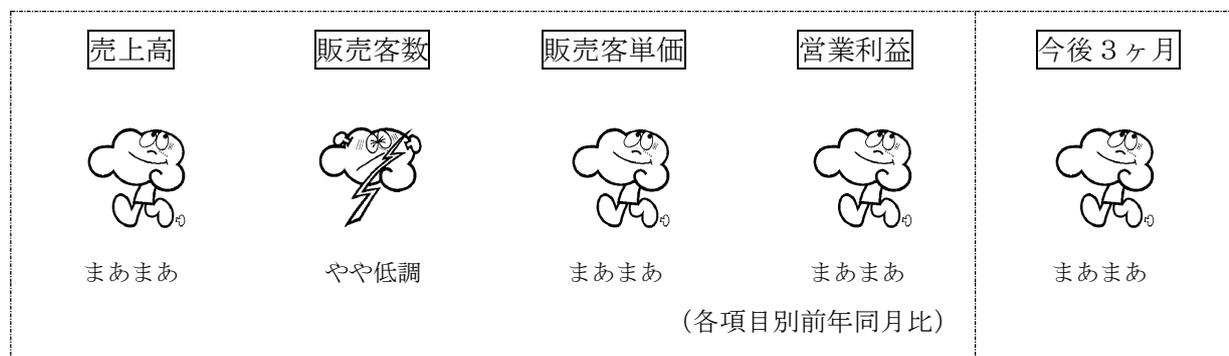
	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	▲ 33.4	▲ 5.5	▲ 43.7	▲ 18.8	▲ 28.6	▲ 13.3	▲ 33.4	▲ 35.3	▲ 16.7	▲ 14.3	▲ 11.8	▲ 26.6	▲ 44.4
販売客数	▲ 33.4	▲ 5.6	▲ 31.2	▲ 12.5	▲ 28.6	▲ 20.0	▲ 33.4	▲ 35.3	▲ 11.1	▲ 14.3	▲ 5.9	▲ 33.3	▲ 38.9
販売客単価	▲ 26.7	▲ 11.1	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 35.8	▲ 13.3	▲ 6.6	▲ 35.3	5.6	▲ 14.3	▲ 11.7	▲ 26.7	▲ 33.3
営業利益	▲ 46.6	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 42.9	▲ 33.4	▲ 46.6	▲ 41.2	▲ 22.2	▲ 21.4	▲ 11.8	▲ 26.6	▲ 38.9
見通し	6.6	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 12.5	0.0	▲ 26.7	0.0	▲ 11.7	16.7	14.3	0.0	6.7	▲ 5.6

<経営者の目・見方・etc>

郷土料理	・特別に良かった昨年には及ばなかったが、夏休みに入ってから客足が増加してきている。
仕出し料理	・イオンモール松本のオープンが近づき、配送時の渋滞対策に苦慮しているが、近隣住民としてはオープンが楽しみである。
中華料理	・暑いと中華は客の入りが良い。涼しくなってからに期待したい。
料理	・月の前半は真夏日が続いたが客の入りは良くなく、宴会も少なく低調な日が続くそうである。

- 喫茶
 - ・イオンモール松本の開店に伴う松本市への集客を期待する。大きな時代の変化が起こる年ではないか。波に吞まれず、細々とやっていきたい。
- 寿司
 - ・日常生活を送るには比較的過ごしやすい日が続いたが、やはり夏は暑く、冬は寒くと四季を感じられる天候の方がお客様の動向もいと改めて感じた月であった。インバウンド含めて観光客の来松は年々着実に増えており、そういった需要を取り組む施策の重要性も増していると感じる。
 - ・梅雨時とはいえあまり雨も降らず暑い日が続いたおかげで、鰻が土用丑の日は無論それ以外の日でもコンスタントに良く売れた。仕入れ値もそれほど高くもなくおちついてきた。「うな井」「うな重」は使う食材は一緒なのに売値が違う。お客様は良く知っていて値段の安いな井を選んでいる。
 - ・景気上昇を期待したが、今少しの状態に変化しなかった。
- そば
 - ・若者の飲酒離れ、海産物の値上がり、魚の水揚げ不漁とこの先飲食店の経営を見直す時期に来ているのか。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	28年7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
売上高	▲10.9	▲9.1	▲25.0	5.0	6.8	▲6.7	▲13.3	▲11.6	8.9	▲4.6	▲5.0	0.0	2.4
販売客数	▲8.7	▲4.5	▲22.7	0.0	4.6	▲11.1	▲17.7	▲14.0	4.4	0.0	▲7.5	▲2.3	▲2.5
販売客単価	▲4.4	4.5	0.0	▲2.5	6.8	▲2.2	▲4.4	▲7.0	0.0	2.3	0.0	9.1	0.0
営業利益	▲13.0	▲15.9	▲15.9	0.0	2.3	▲17.8	▲17.8	▲14.0	▲2.2	▲14.0	▲7.5	▲2.3	4.9
見通し	0.0	4.6	9.1	10.0	4.5	2.2	8.9	0.0	6.6	7.0	▲5.0	4.5	0.0

<経営者の目・見方・etc>

- 自動車整備
 - ・夏に入るが、梅雨明け宣言してから梅雨の状態になっている。仕事の量もいつもより少なくなっていると感じる。自動車も日々進化し、古い車から少しずつ変わっていく。客足は遠のくばかり。先行きが見えない。何か手を打たなければいけない。
- 温泉旅館
 - ・天候が不安定で、大雨による通行止めや被害が少なからずあり、登山者もいつもの年より少なくなった割には、宿泊客には影響が少なかった。しかし、梅雨明け宣言が出たのに、悪天候がずっと続いたため、後半の売り上げは伸びなかった。
 - ・7月は信州デスティネーションキャンペーンの効果が中信西部地域に出ていない。
 - ・観光トップシーズンで客足増大、イオンモール松本関係での宿泊は来ないが、ビジネス系の宿泊は最多であった。観光関係のイベントでの宿泊も多い。

宿泊	・前半台風3号による通行止めもあり、全くダメであった。例年海の日から多くの来訪がある。梅雨明け宣言後の戻り梅雨は山行者には影響大であった。
ホテル	・イオンモール松本オープンによる、採用に関する影響があった。
機械設計	・良い状態が続いている。年末まではこのままいけそうだ。
ソフトウェア	・引き合いは多くなっているが、慢性的に人材が不足していると感じる。特に、ある業務課題に対して解決可能な選択肢が複数考えられる場合に、広範囲な知識でそれに応えられる人材が不足している。地方のユーザー企業の課題としては、コミュニケーション能力と技術経験が豊富な人材の確保が競われている。
タクシー	・学校が夏休みに入り、街中は観光客を含めて人通りが増えているが輸送客数は前年より少なかった。しかし、客単価は少し高かったので売上高は前年並みであった。
ペットサービス	・来店数、売上高共に前年並みであった。暑い日が続いているので、犬や社員の健康もチェックしていく必要がある。
ホームクリーニング・ リネンサプライ業	・好天にも恵まれ、インバウンド含め観光客の入込みもまずまずであった。しかしながら、天候の関係で8月が心配である。
ビル・住宅総合 メンテナンス	・売り上げ単価は上がり、仕入れ価格は値上がりし、最低賃金は毎年上がり、給料を上げ、求人活動しても求職者は少なく、人手不足。対応策、打開策にあの手この手で乗り切っている。特効薬が欲しい。

